

2011・猿留山道復元ボランティア事業 開催要項（案）

1. 開催主旨：

猿留山道（さるる・さんどう）、江戸時代・寛政十一年（1799）に開削された蝦夷地（北海道）最初の官製道路の一つで、全国を歩いた伊能忠敬が測量し、北海道の名付け親松浦武四郎が探査した山道であり、数多くの紀行文や絵図に当時の様子が記載されています。

2009年（平成21年）6月には、えりも町文化財に指定されました。

猿留山道復元ボランティア事業は、歴史ある猿留山道を復元し、歴史と日高南部の自然環境を学ぶ場にしようと、2003年より町内外のボランティアによる下草刈りなどの整備を継続し、残存する山道部分が歩行できるようになりました。

今年度の復元ボランティア事業は、整備された山道を歩き、猿留山道を地域資源の一つとしてとらえ、今後の利用活用・整備方法などについて参加者が意見交換しながら、一部下草刈りや路面整備をおこないます。

2. 主催：猿留山道復元ボランティア事業実行委員会

構成団体： えりも町教育委員会、
北海道日高振興局、北海道教育庁日高教育局
えりも町郷土資料館N42°の会、

3. 後援：えりも町商工会・えりも観光協会・えりも建設協会・

日高南部森林管理署・ひだか南森林組合・
日高報知新聞社、北海道新聞社 など

4. 協力：エコ・ネットワーク

5. 開催期日：平成23年9月23日（土）～24日（日）

6. 参加費：大人子供ともに（傷害保険料ほか）

23日24日各日1,000円 23日の交流会費3,000円程度

札幌発着参加（1泊2日）の場合、参加費は宿泊経費など含めて別に料金設定されます。



小学生もあるく猿留山道。



ハートの豊似湖、沼見峠からの眺め。

7. 日程（今後、コース・時間等に変更が生じる場合もあります。）

9月23日（土）

札幌出発 7～8 時頃

- 1 2 時 えりも町郷土資料館
集合
1 5 分 移動
1 2 時 3 0 分 庶野駒止駐車帯
展望の丘から
えりもフットパス
百人浜コース
休憩をとりながら
えりも岬地区へ

約 9 km 歩きます。

- 1 6 時 襟裳神社祭典見学
1 6 時 3 0 分 襟裳岬・宿着
1 8 時 3 0 分 夕食交流会

9月24日（日）

- 8 時 2 0 分 えりも町福祉センター 集合
8 時 4 0 分 出発
9 時 2 0 分 342m 猿留山道入口取付
9 時 4 0 分 出発
猿留山道を歩く
1 1 時 1 0 分 沼見峠・着・
昼食&百人浜襟裳岬展望
1 2 時 0 0 分 出発
豊似湖畔経由
1 3 時 3 0 分 豊似湖駐車場
閉会式
1 3 時 4 0 分 出発
1 5 時 3 0 分 えりも町福祉センター着



猿留山道沼見峠にある江戸時代の妙見神と馬頭観世音菩薩。

猿留山道は、文化庁により「採掘・製造、流通・往来及び住居に関連する文化的景観の保護に関する調査研究（重要地域）」に選択された「北海道開拓の道」の一つに選定されました。（平成19年8月）また、平成21年4月1日えりも町文化財に指定されました。

8. 定員 : 札幌からのバス宿泊付参加者 30名程度
地元参加者 30名程度

9. 参加資格 : 4km の距離を歩ける健康な方で、開催主旨に賛同していただける方。

◎小学4年生以上。ただし、小学3年生以下は保護者同伴。

1 0 . 申込締切：先着順。

1 1 . 申込み・問合わせ先：

えりも町郷土資料館ほろいずみ 担当：中岡・小林

TEL&FAX：01466-2-2410(火曜日休館)

E-mail：erimomus@cocoa.ocn.ne.jp

1 2 . 主な持ち物：白色系統の帽子（ハチ対策）、長袖シャツ、軍手、ザック、水筒、はきなれた底の硬い靴、厚手の靴下、お菓子類(非常食)、2泊3日の着替えと必需品（宿泊者）カッパなどの雨具、防寒服など各自必要なものをご準備ください。

* スズメバチ対策として、香水などは禁止します。

○えりもの9月中下旬は、気候も安定していますが、朝晩は冷え込むことがあります。風が強いと体温が低下しますので、薄い防寒服などをご用意ください。

◆なお、札幌発着の詳細については、参加申込者各自に、後日通知させていただきます。 担当：エコ・ネットワーク（011-737-7841）

■ えりも参加申問先：えりも町郷土資料館 中岡 01466-2-2410
090-5954-1574（携帯）